

市内医療機関の皆様へ

横浜市保健所長

古賀 伸子

インフルエンザの市内流行注意報発令に伴う注意喚起について（依頼）

日頃から本市の感染症対策に御理解、御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

本市では、第 51 週（12 月 17 日～23 日）の定点医療機関当たりの患者報告数が 11.47（暫定値）となり、流行注意報発令基準(10.00)を超えたため、12 月 27 日に市内にインフルエンザの流行注意報を発令しました。

区別の流行状況では、**7 区**で定点医療機関あたりの患者報告数が流行注意報発令基準を超えています。

市内でインフルエンザによる学級閉鎖や学年閉鎖を行った学校等は 68 校に上り、高齢者施設や保育園での集団発生は 4 件、医療機関での院内感染事例は 1 件報告されています。

本格的な流行期に入る前に、施設への持ち込み防止策、発症者の早期把握及び感染拡大防止策の強化が重要です。

御多忙中のところ誠に恐縮ですが、各医療機関における対策を徹底するよう「別添」の対応について、院内に御周知くださいますようお願いいたします。

<添付資料>

- 1 別添「施設への持ち込み防止策と感染拡大防止策を強化しましょう！」
- 2 横浜市インフルエンザ流行情報 4 号